

患者さんの状況に合わせて選べるアレルギー検査

特異的 IgE アレルゲン項目セット

今回取り上げた室内塵に含まれる項目の中でも陽性率が高いことに基づき、臨床的有用性が高いと考えられるアレルゲンセットです。測定結果は定量値に加え、定量値に基づいたクラス値および陰性、疑陽性、陽性の判定結果として報告されます。アレルギー性鼻炎および気管支喘息など吸入アレルゲンにより気道に起こるアレルギーを精査する際により適しています。

多項目同時検査

気管支喘息やアレルギー性鼻炎など気道に起こるアレルギーに有用な吸入項目が組み込まれた、数十種類のアレルゲン項目で構成された検査です。吸入項目に加えて約半数が食物項目のため、問診での感作アレルゲン推定が困難な場合にご活用ください。

Information

イムノキャップ 特異的 IgE セット・項目のご案内

| HPP 鼻炎 13 コード 11559 | | | HPP 喘息 13 コード 11557 | | |
|---------------------|---------|----------|---------------------|---------|----------|
| ヤケヒョウヒダニ | ヨモギ | ゴキブリ | ヤケヒョウヒダニ | 雑草(マルチ) | ユスリカ(成虫) |
| スギ | ハンノキ(属) | ユスリカ(成虫) | スギ | イヌ皮膚 | アスペルギルス |
| ヒノキ | イヌ皮膚 | カビ(マルチ) | ヒノキ | ネコ皮膚 | アルテルナリア |
| カモガヤ | ネコ皮膚 | | カモガヤ | ガ | |
| ブタクサ | ガ | | カンジダ | ゴキブリ | |

マルチアレルゲンの構成 カビ | ペニシリウム、クラドスポリウム、アスペルギルス、カンジダ、アルテルナリア、ヘルミントスポリウム
雑草 | ブタクサ、ヨモギ、フランスギク、タンポポ(属)、アキノキリンソウ

多項目同時検査「View アレルギー39」

| 吸入系・その他 | | | | 食物系 | | | |
|---------|-------------------------------|-----------|--|-----|---------------|-----|-------------------|
| 室内塵 | ヤケヒョウヒダニ ハウスダスト1 | イネ科 植物 | カモガヤ オオアワガエリ | 卵 | 卵白 オボムコイド | 豆類 | 大豆 ピーナッツ |
| 動物 | ネコ皮膚 イヌ皮膚 | 雑草 | ブタクサ ヨモギ | 牛乳 | ミルク | 肉類 | 鶏肉 牛肉 豚肉 |
| 昆虫 | ガ ゴキブリ | 真菌 | アルテルナリア(ススカビ) アスペルギルス(コウジカビ) カンジダ、マラセチア(属) | 穀類 | 小麦 ソバ 米 | 魚類 | マグロ サケ サバ |
| 樹木 | スギ、ヒノキ ハンノキ(属) シラカンバ(属) | 職業性 | ラテックス | 甲殻類 | エビ カニ | 果物 | キウイ リンゴ バナナ |
| | | | | | | その他 | ゴマ |

ハウスダストの中に潜んでいる 花粉症の原因花粉



外出時にマスクを着用していても、春花粉飛散時期にくしゃみや咳が長引く場合、屋外の花粉に加えて、ハウスダスト中の花粉にもご注意ください。花粉以外にもハウスダストにはさまざまなアレルゲンが含まれています^{1,2)}。

家屋のハウスダスト中花粉量* 調査³⁾

- 5月が最も花粉総数が多くなっている事は花粉の飛散時期に室内の花粉が増大したことを示しています。
- 花粉は飛散のピーク時期を過ぎても家屋内に留まり、年間を通じて存在している事を示しています。

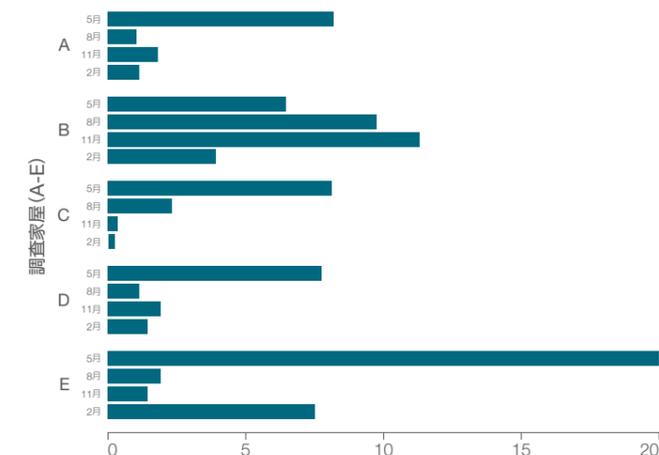


図1 都市部の5つの家(A-E)の毎月(5月から2月)の室内塵サンプル1gあたりの花粉総数(×10⁵/g)³⁾

* スギ、マツ属、コナラ属、ハンノキ属、クリ・シイ属、イネ科など

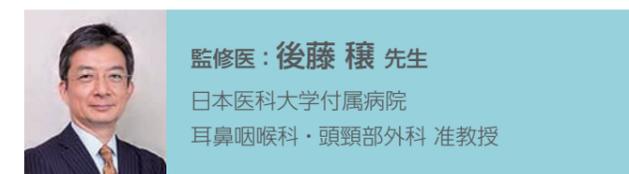
ハウスダスト中に含まれるアレルゲンの感作率

表1は各アレルギー性疾患でハウスダスト関連アレルゲンを個別に検査したIgE抗体保有率です。ダニ→ペット→昆虫(ガ・ゴキブリ)の順にIgE抗体保有率が高い事を示しています。その他に、ハウスダストには花粉や一部食物アレルゲンも含まれていることが報告されています^{1,2)}。

表1 アレルギー性疾患患者のハウスダスト関連アレルゲン感作^{1)より作図}

| 疾患・年齢 | ダニ | ネコ皮膚 | イヌ皮膚 | ガ (メイガ・イガ) | ゴキブリ | アスペルギルス |
|-----------|-------|-------|-------|---------------|-------|---------|
| 気管支喘息 | 71.0% | 31.1% | 28.7% | 50.0% | 26.6% | 16.6% |
| アレルギー性鼻炎 | 63.1% | 21.8% | 20.6% | 32.5% | 13.4% | — |
| アトピー性皮膚炎 | 86.3% | 66.5% | 72.0% | 75.0% | — | 71.7% |
| 小児(0-1歳) | 41.0% | 21.0% | 35.2% | 14.3% | 23.8% | 5.7% |
| 小児(2-5歳) | 84.1% | 44.4% | 50.0% | 33.6% | 30.4% | 22.9% |
| 小児(6-15歳) | 95.9% | 57.4% | 55.9% | 40.7% | 31.1% | 28.9% |

ハウスダスト中にはさまざまなアレルゲンが含まれています。ハウスダストアレルギーとひとまとめにするのではなく、個々のアレルゲンの感作を確認して環境整備を推奨する報告があります¹⁾。原因アレルゲンの除去回避にイムノキャップ™ 特異的 IgE 検査をお役立てください。



監修医：後藤 穰 先生
日本医科大学付属病院
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 准教授

室内アレルゲンのセルフケア対策

アレルゲンによってセルフケア対策が異なります。アレルギーの原因を知って効果的な対策をしましょう。

ダニ

- 掃除の順番は、1) 寝具、2) 寝室と居間のじゅうたんやカーペット、3) 最後に畳の順で。
- 床はフローリングにするのが理想です。
- じゅうたんやカーペットに掃除機をかける場合は、週1回以上、なるべく時間をかけてゆっくり丁寧にかけましょう。
- 掃除の際は窓や押し入れを開けて換気よく。
- 寝具(布団や枕など)は週1回以上天日に干し、布団には直接掃除機をかけましょう。また、布団カバーも週1回以上洗濯機で丸洗いしましょう。
- むいぐるみを置く場合は3カ月に一度、洗濯しましょう。



カビ

- お風呂の換気を十分に。24時間換気を止めないのが理想です。
- エアコンのフィルターは、使い始めの時と使用したら月に1回程度洗浄をしましょう。
- 家庭内の水周りや加湿器の容器は、こまめに洗浄・除菌を行いましょう。



花粉

帰宅時の注意点

- 衣類についた花粉をよく払ってから家に入りましょう。
- 洗顔、うがい、鼻をかむ。

外出時の注意点

- マスクやメガネ、帽子を使用する。
- 表面がツルツルした素材の服を着る。



動物

- ペットはなるべく外で飼いましょう。
- 室内飼育の場合、こまめに入浴させ、毛が飛ばないようにしましょう。



ガ・ゴキブリ

- 台所周辺、食器棚、洋服ダンスを掃除しましょう。
- 長期間放置された穀類・乾燥食品があれば整理しましょう。

食物

- 食べこぼした食物などを放置しないようにしましょう。

室内のアレルゲン



アレルゲンカレンダー

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|-----|-----------------|------|-----------------|-------|--------------------|----|-------------|----|----|--------|-----|-----|
| 樹木 | | ハンノキ | | | | | | | | | | |
| | | スギ | | | | | | | | | | スギ |
| | | | ヒノキ | | | | | | | | | |
| | | | | シラカンバ | | | | | | | | |
| イネ科 | | | カモガヤ・オオアワガエリ など | | | | | | | | | |
| キク科 | | | | | | | ブタクサ・ヨモギ など | | | | | |
| カビ | | | | | アルテルナリア・アスペルギルス など | | | | | | | |
| 昆虫 | | | | | ガ・ユスリカ | | | | | ガ・ユスリカ | | |
| 室内塵 | ダニ・ネコ・イヌ・ガ・ゴキブリ | | | | | | | | | | | |

植生および時期は地域により若干異なります